

TOTO

開閉ユニット

THF60型
THF53型
THF53-1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

🚫 は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。

! は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注意

🚫 分解禁止	開閉ユニットは絶対に分解しない 特殊組立をしておりますので破損します。	
! 必ず実行	開閉ユニットを取り外す際は必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う 湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

2. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

THF53型（壁付用）	THF53-1型（台付用）
開閉ユニット	開閉ユニット
THF60型（棚水栓用）	
開閉ユニット	

3. 分解図

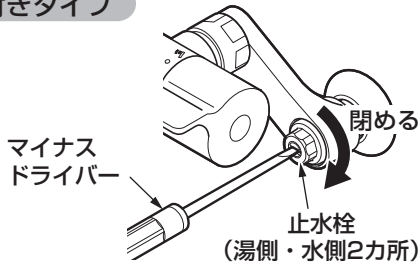
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

4-1. 取替方法

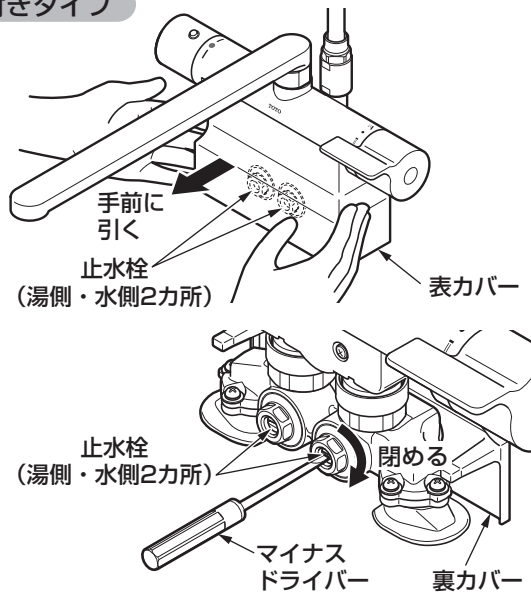
1-1 旧ユニットの取り外し

① 止水栓(湯側・水側)または元栓を確実に閉める。

壁付きタイプ



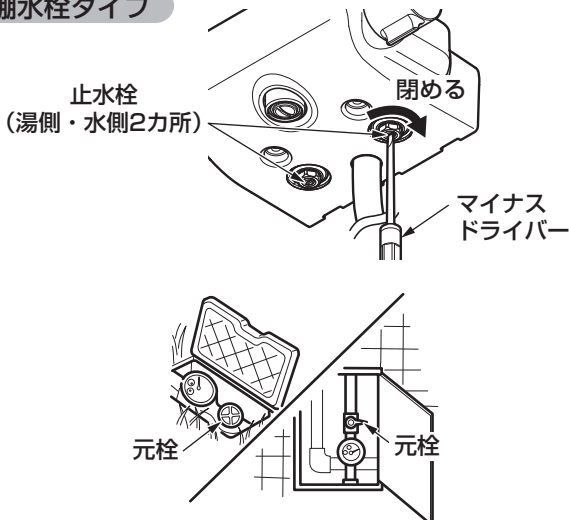
台付きタイプ



台付きタイプ

台付きタイプはカバー内に止水栓があるため、カバーを外してから作業を行ってください。

棚水栓タイプ



② 切替ハンドルを「止」の位置で取り外す。

注意

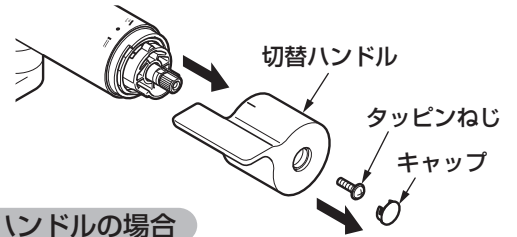
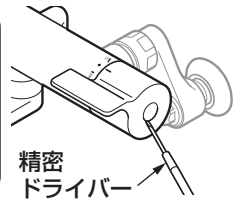
切替ハンドルは必ず「止」の位置で外してください。他の位置で外すと、クリック板ばねが破損することがあります。

レバーハンドルの場合

切替ハンドルが回らないように注意してキャップ・タッピンねじを外して切替ハンドルを抜き取ってください。

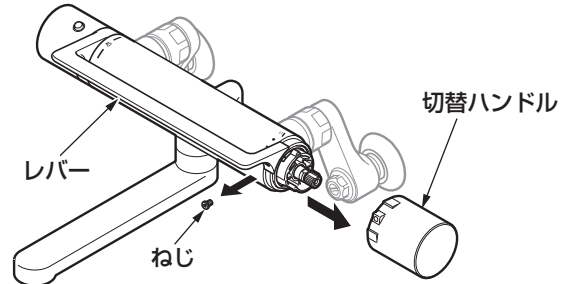
注意

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

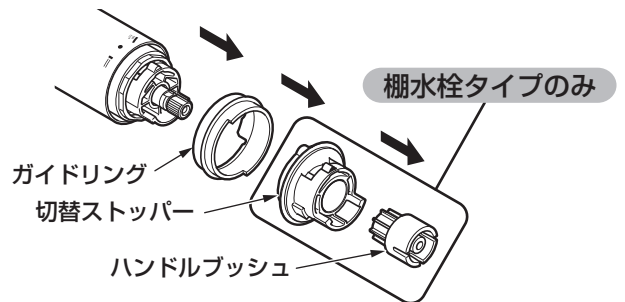


アーチハンドルの場合

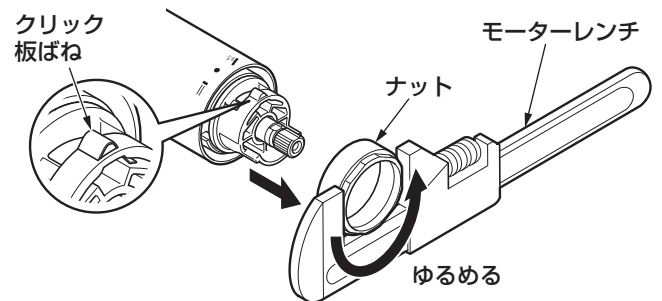
切替ハンドルが回らないように注意してねじを外して切替ハンドルを抜き取ってください。



③ ガイドリングを取り外す。



④ ナットを取り外す。



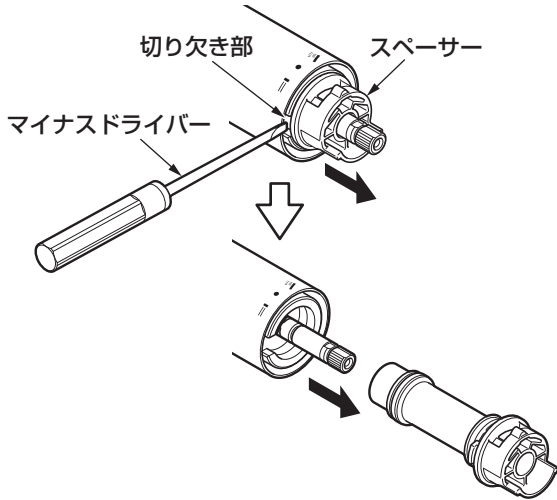
注意

- ナットを外すときは、クリック板ばねに当たらないようにナットを外してください。
- クリック板ばねは外さないでください。

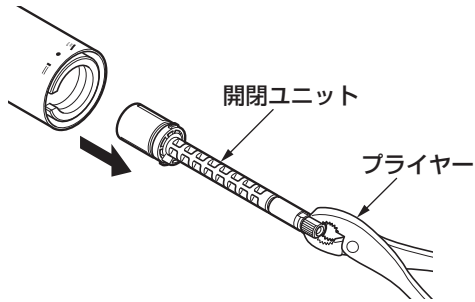
4-2.

1-2 旧ユニットの取り外し (つづき)

- ⑤ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、スペーサーを浮かせて取り外す。

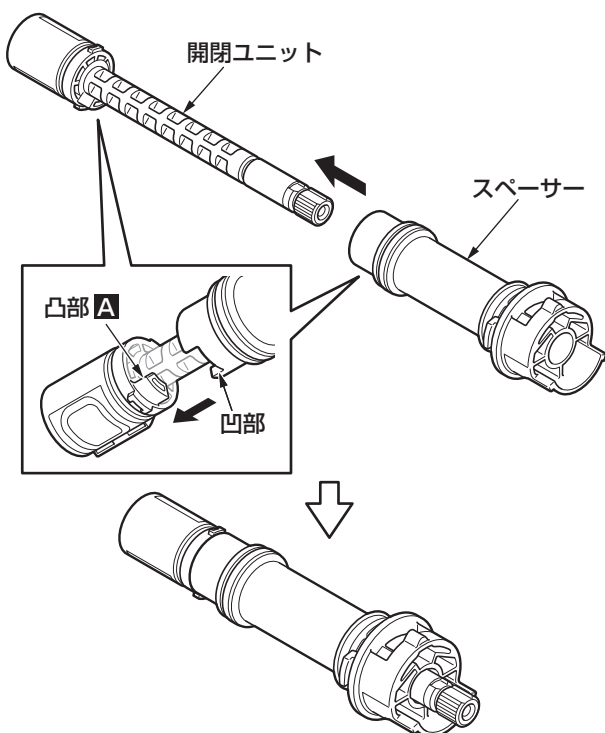


- ⑥ 開閉ユニットをプライヤーなどで引っ張り、取り外す。

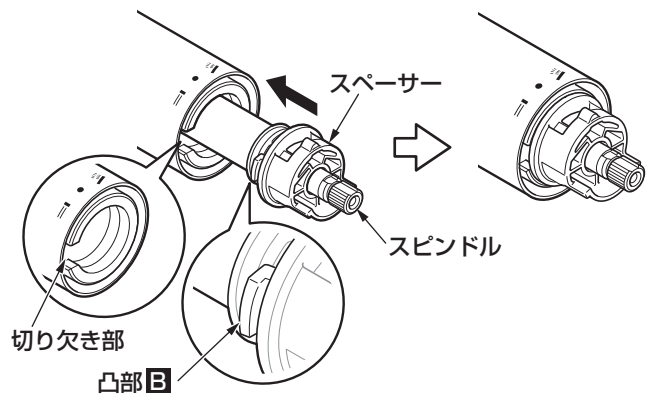


2 新ユニットの取り付け

- ① 開閉ユニットの凸部Aとスペーサーの凹部をあわせる。



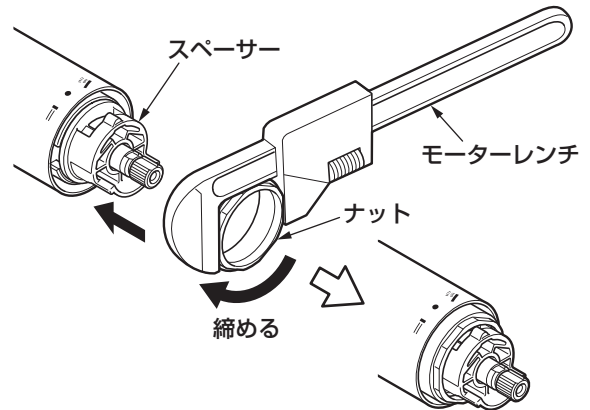
- ② スペーサーの凸部Bを本体の切り欠き部にあわせて組み込む。



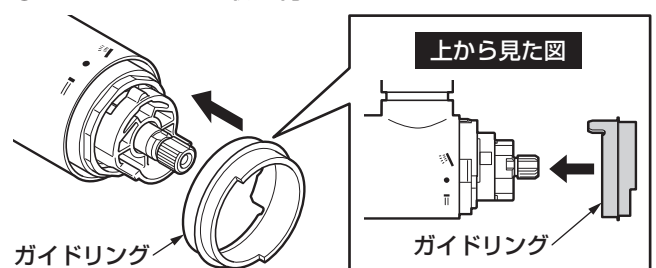
注意

スペーサーと開閉ユニットが離れないように、スピンドルをつまんでスペーサーを押して確実に組み込んでください。

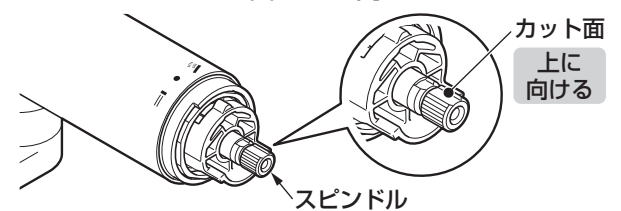
- ③ ナットを締め付ける。



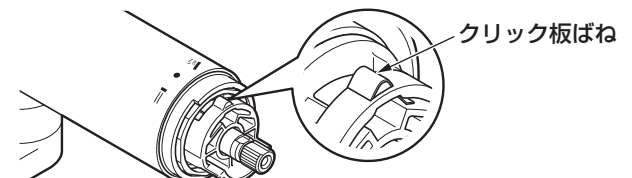
- ④ ガイドリングを取り付ける。



- ⑤ スピンドルのカット面を上に向ける。



- ⑥ クリック板ばねが付いていることを確認する。

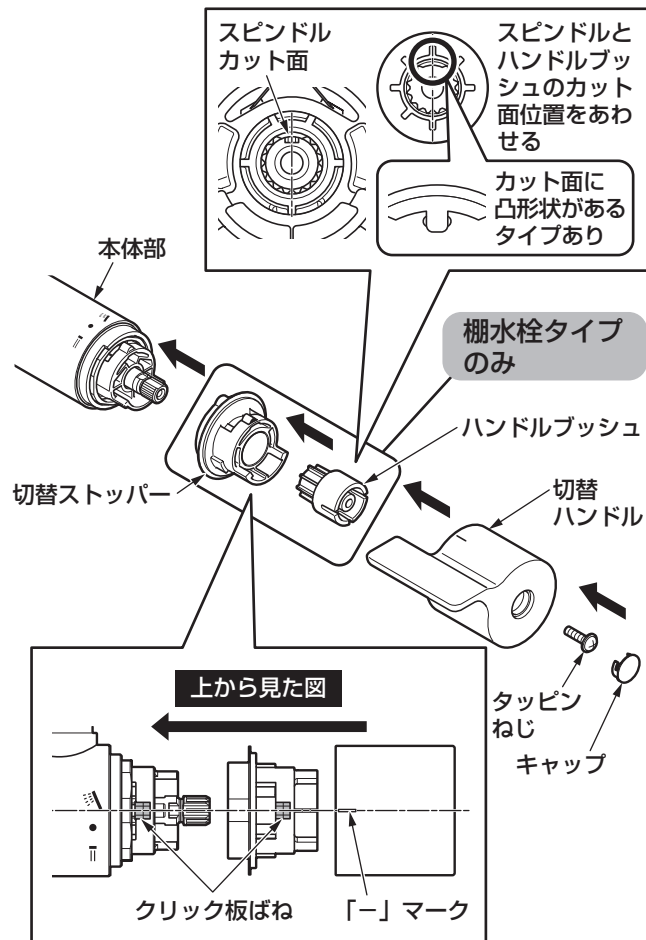


⑦切替ハンドルを取り付ける。

レバーハンドルの場合

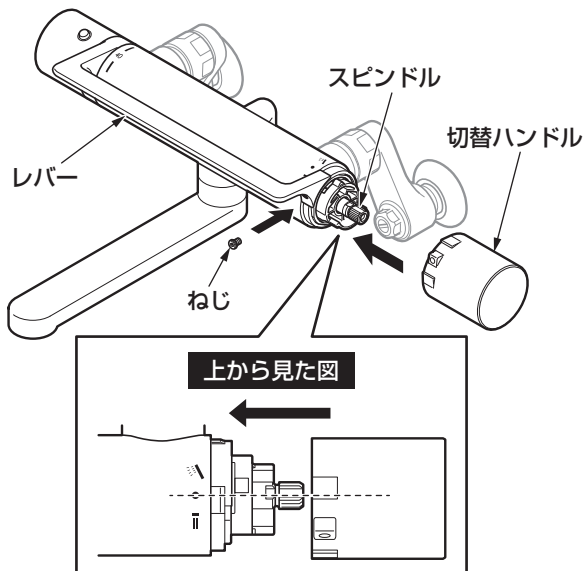
本体部の「●」と切替ハンドル部の「-」が合うように切替ハンドルをはめ込み、タッピンねじで固定してキャップを取り付けてください。

※棚水栓タイプはクリック板ばねと切替ハンドルの「-」が合うように取り付けてください。



アーチハンドルの場合

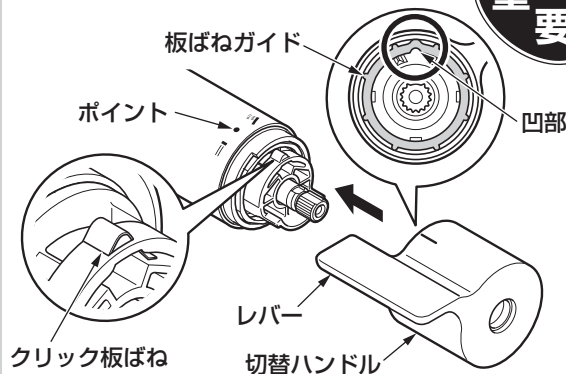
下図の向きで切替ハンドルをはめ込み、ねじで固定してください。



注意

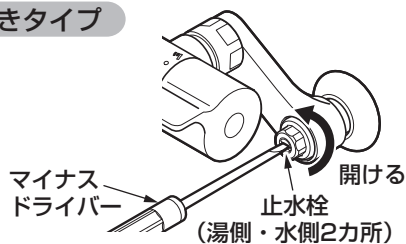
切替ハンドルは、必ずクリック板ばねと板ばねガイドの凹部をあわせて取り付けてください。他の位置で取り付けると、クリック板ばねが破損することがあります。

重要

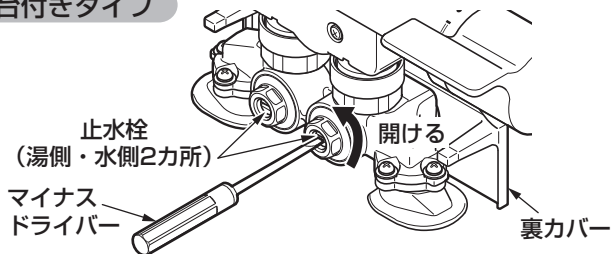


⑧止水栓（湯側・水側）および元栓を開け、スパウトから水が出るか確認する。

壁付きタイプ



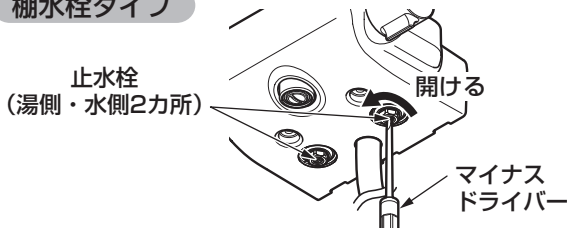
台付きタイプ



台付きタイプ

止水栓は、カバーの中にあります。カバーの取り外し・取り付けかたについては、「**1**旧ユニットの取り外し」を参照ください。

棚水栓タイプ



注意

水漏れがないか確認してください。

重要

